

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)増田医科器械 大阪支店	階数	地上3階	
建設地	大阪府高槻市井尻	構造	S造	
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	50 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2023年8月19日	
敷地面積	2,202 m ²	作成者	清水大輔	
建築面積	1,435 m ²	確認日	2023年9月19日	
延床面積	3,815 m ²	確認者	清水大輔	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)	
<p>BEE = 0.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>		<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです</p>			

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.2

<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 1.3</p>
---	---	---

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.6</p>
--	---	--

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
倉庫および事務所の建物で、倉庫面積の比重が大きいため面積効率を優先し建物は直方体をベースに計画。日焼け等保管物品への影響を避けるため倉庫ゾーンは開口を最小限に抑え、開口を設ける箇所はLow-E複層ガラスを標準として計画した。		特に無し。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
屋根に断熱材を施す。開口はLow-E複層ガラスを採用。	事務室の床にはOAフロアを採用。事務所天井高さを2.8m確保。	庇を大きくする事で、敷地内に日陰の形成に努める。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明・電気式ヒートポンプ式マルチエアコン・全熱交換器を採用。Low-E複層ガラスの採用により空調負荷を減らす。	自動水栓・節水型器具を採用。	燃焼系機器を使用しておらず、大気汚染物質を発生しない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0085

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)増田医科器械 大阪支店 建築計画					
	建設地	大阪府高槻市井尻					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					1	
③	建物の断熱性					1	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	1.0	1
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.6	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		